

「靴の記念日抽選会」



去る3月1日から31日迄、各店舗の協力のもと行われた、5千円のお買物券が当たった「靴の記念日」イベントで応募されたハガキの抽選会を4月24日、理事会終了後に行った。

応募ハガキの中から300枚を選び出し、お買物券を当選者に送付。当選者は応募ハガキをお渡しした店舗で5000円のお買い物をすることが出来る。

今回は応募総数2643通(専門店・1485通、大型店・1158通)となった。大型店の応募は大きく減少したが、専門店が微増となった。このイベントも回を重ねて、定着してきている。専門店の店舗数が減少している中、わずかではあるが、応募数が増えていることで専門店の積極的な協力も得られているのでは、と感じられる。前回より東青会を中心にポスター等の一新をしている。

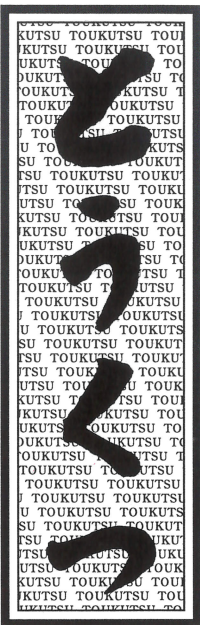


抽選会は応募ハガキの数で按分し、専門店168通・大型店132通の300通を、それぞれの抽選箱から各理事が選り出した。

この企画がスタートした平成25年からの12年間の応募数の推移をご参考までに一覧表にした。昨年はスタート時の4270通に迫ったが、今期は減少となった。今後は方法等検討していく必要もありそうだ。(表参照)

靴の記念日・応募数推移

実施年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
大型店	1,795	1,631	1,544	2,339	2,243	1,709	1,463	1,752	1,468	2,622	2,644	1,158
専門店	2,475	1,994	1,950	1,834	1,670	1,679	1,659	1,383	1,429	1,582	1,433	1,485
応募総数	4,270	3,625	3,494	4,173	3,913	3,388	3,122	3,135	2,897	4,204	4,077	2,643
昨対比/%	-	84.9	96.4	119.4	93.8	86.6	80.3	100.4	92.4	145.1	97.0	64.8
H25年比/%	100	84.9	81.8	97.7	91.6	79.3	73.1	73.4	67.8	98.5	95.5	61.9



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(5月号)



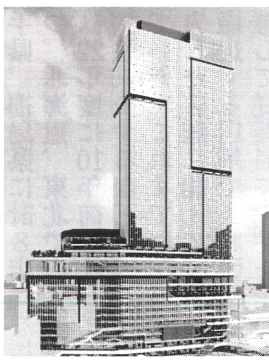
小田急・新宿西口再開発

小田急電鉄は新宿駅西口で進める再開発計画に1300億円を投資すると発表した。商業施設やオフィスなどで構成する地上48階、地下5階建ての超高層ビルなどを建設する予定だ。東急不動産や東京メトロと組み、2029年度の完成を目指す。

再開発は東急不動産、東京メトロを含む3社共同で開発するA区画と小田急が単独で進めるB区画に分かれる。小田急は両区画で1300億円を投じる。投資金額や開発区画の割合などは明らかになっていない。

小田急は東急不動産が新宿西口の再開発に正式参画することで合意した。小田急が敷地の提供、東急不動産が建物の開発を担い、開発後は土地や建物を共有する。開発実績の多い東急不動産と組むことで、建物の価値向上を狙う。

(日経MJより)



(完成イメージ)

大和ハウスが商業施設再生 テナントも誘致

大和ハウス工業は老朽化したショッピングセンターの再生事業を本格化する。建物を買い取るなどして修復し、テナント誘致にも取り組む。物件価値を高めてから施設の売却などを検討する。3年後をめどに年間10件ほどの物件を取得する。

開業から20年以上が経過したショッピングセンターを中心に、約1200カ所の施設で所有者などの意向調査を実施したという。2023年度中にさらに800カ所程度の物件への調査も済ませる予定としている。

大和ハウスは老朽化したショッピングセンターの再生について、大規模な建て替えではなく既存の施設を生かした修復や増築が主流になるとみる。大和ハウスが建物を借りて、修復してから施設を運営する場合もあるという。既存施設を修復して早期に売却できれば、新築よりも短期間で収益が見込めるメリットもある。19年には広島市のショッピングセンター「アルパーク」を取得し、内装を更新してリニューアル開業させた実績がある。(日経MJ 2023年12月号より)

理事会・支部連絡会

令和六年四月二十四日(水) 午後時、西村記念ホール

出席者15名

司会の矢代副会長より理事会の開始を告げ、栗原会長が「桜も散りゴールデンウィークが近づいています。今年の夏も予報では暑い日が続くようです。商売においてもサンダルをどのように売っていくのが、課題になると思います。また私を含め高齢化になっていきます。暑さの中体調を崩さないようお過ごしください。今日は総会を前に事業計画案の審議をお願いします。この中で大きく変わったところは、大型店のくくりは無くし一般会員と同じになることです。理事会後の抽選会も今回までは大型店と専門店を区別してありますが、今後は一緒になります。

また、このフロアの使い方についてもホールとして使用することも少なくなり、賃貸としての部分も検討しているところとあります。少しでも会の収入を増やすことも必要だと感じています。協会の運営に支障のない範囲での変更を考えたいです」と挨拶を行った。

一、令和六年度事業計画

収支暫定予算案について
木内副会長より説明。基本方針については、ほぼ昨年同様に靴業界の発展とゆとりと豊かさのある生活向上に寄与する、となっています。

事業計画については、こちらもほぼ昨年同様となっております。靴まつり等計画しております。機関誌「とうくつ」については、印刷費の削減もありますが、デジタル化を進めます。ページ数を2ページとし今後は発行回数も検討してまいります。デジタル化することによって従業員を含め広く会員の方々に発信していくこともできると考えています。

また、社員研修会については、お願いしていたアジアリングの廃業に伴い今後は靴関連の講座の検討をしてまいります。内容等ご要望があればお聞かせ下さい。

靴の記念日の式典なども従来通り開催いたします。合同ビルの維持管理につきましては、挨拶の中で会長も申しましたが、5階フロアを事務所部分は除き、仕切るなどして賃貸できるよう検討しております、と説明した。

質疑を求めたのち場内に諮り原案通り承認された。

収支予算案については、前回の理事会で承認されています。

二、その他

続いて矢代副会長より永年勤続従業員表彰の説明を行い、5年以上の方は総会において表彰いたしますので、対象者は事務局までご連絡ください、と説明。続いてこの後抽選会を行いますので協力ください、と要請し理事会は終了した。

ヨーカー堂、東北など撤退計17店、北海道・信越も

セブン&アイホールディングス傘下の総合スーパー、イトーヨーカ堂は、北海道と東北、信越地方の17店を閉鎖すると発表した。全国の一割強に相当する店を今春以降に順次閉める。セブン&アイホールディングスは2023年3月、ヨーカー堂33店舗を26年2月までに減らし首都圏など都市部中心の体制に移行する方針を示した。特定の地域全体で閉鎖店が明らかになるのは初めてだ。

パートなどの従業員の雇用は後継店を調整するなどしてできる限り維持する方向で協議を進める。正社員は別の店舗や部署への異動などで対応する。

ヨーカー堂は長野で2店舗、新潟で1店舗を運営しているほか、北海道で6店舗、東北地方では宮城県や青森県、岩

東京都中小企業景況調査(3月)
業況：わずかに下向き
見通し：4か月連続で改善

卸売業			業況				
対象数	回答数	回答率	3月		今後3か月間見通し(当月比)		
			悪い	良い	悪い	良い	
875	354	40.5%	-100	0	100	-100	0
衣料・身の回り品	1. 男子服			○			○
	2. 婦人・子供服						
	3. 靴・履物						
	4. かばん・袋物						
	5. 装身具・身の回り品						

小売業			業況				
対象数	回答数	回答率	3月		今後3か月間見通し(当月比)		
			悪い	良い	悪い	良い	
875	317	36.2%	-100	0	100	-100	0
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具						
	2. 男子服						○
	3. 婦人服						
	4. 子供服				○		
	5. 靴・履物						
	6. かばん・袋物						
	7. 雑貨・身の回り品						
	8. 時計・眼鏡						
	9. ジュエリー製品						

手県、福島県に計8店舗を持つ。北海道、東北での売上高は22年度に10年前と比べて3割強減少するなど苦戦が続いていた。これまでに閉店を発表した店舗に加えて、新たに撤退する店舗でも説明会を開催して従業員に理解を求めた。ヨーカー堂は23年9月に旧イトーヨーカ堂とセブングループの食品スーパー、ヨークと合併した。有価証券報告書によると、合併前の23年2月末時点で北海道と東北地方で働く従業員数は、パートやアルバイトを含めて約2200人。閉鎖する店のうち、石巻あけぼの店はセブングループのスーパーで東北を地盤とするヨークベニマルが、屯田店(札幌)など7店はディスプレイカウントスーパー「ロピア」などを運営するOICグループ(川崎市)が店舗を引き継ぐ予定だ。(日経MJより)

靴専門店・大手三社の直近3か月売上推移

4月は気温が高く、外出機会の増加はしたが、日曜日が昨年より1日少なく客数は微減したが売り上げは6.2%増となった。(チヨダ)

TVCMやデジタル広告等の販促を行ったアイテムを中心にウオーキングやランニングシューズが好調。(ABCマート)

気温の高い日が多く、メンズ中心にシーズン商品が好調。日曜が1日少なく、累計では昨対で微減となった。(ジフット)

社名	2月	3月	4月	
チヨダ	既存店売上	15.4	7.2	6.2
	客数	4.2	-1.0	-1.9
	客単価	10.6	8.3	8.2
ABCマート	既存店売上	18.1	10.7	6.5
	客数	9.8	2.3	-0.5
	客単価	7.6	8.3	7.1
Gフット	既存店売上	7.3	7.4	-0.4
	客数	-14.8	-6.1	-13.3
	客単価	26.0	14.3	11.9
	店舗数	645	646	646

(昨年同月対比%)